平成25年度 認知症対策•権利擁護分科会

資 料 2-1

議事(2)

北九州市における認知症施策の状況

・総合的な認知症対策の現状

総合的な認知症対策の現状(イメージ)

北九州市における「総合的な認知症対策の推進」の方向性

1 本市の現状

本市の高齢化率は、全国平均を上回っており、現在4人に一人が65歳以上という状況で、政令指定都市の中で最も高くなっている。その中でも認知症高齢者の数は3万人を超えており、今後、さらに増加していくことが予測される。

2 国の計画の公表

国においては、今後の認知症施策の推進計画として、平成24年9月に「オレンジプラン(認知症施策推進5か年計画)」を公表した。



3 総合的な認知症対策の推進計画の策定 《北九州市版オレンジプラン作成》

こうした状況のなか、本市においては、今までも、 啓発・予防、早期発見・早期対応、ケア、安全の確保 など、様々な取組みを行ってきたが、取組みのさらな る充実・強化のため、「北九州市版オレンジプラン」 を作成し、総合的な認知症対策の推進を図ることとす る。

《関係機関との連携》

総合的な認知症施策の推進にあたっては、地域、 警察、医師会、弁護士会等の団体、及び、市役所内の 各局の連携が必要不可欠である。

予防への取組みの強化

- ◇認知症を予防するための心と体の健康づくり事業 (認知症予防講演会・認知症予防教室)
- ◇軽度認知障害対策推進事業(脳の健康度テスト)
- ◇訪問等による介護予防支援事業
- ※対象者は閉じこもり、うつ、認知症等の恐れがある方

早期発見・早期対応

- ◇認知症疾患医療センター運営事業
- ◇かかりつけ医認知症対応能力向上研修
- ◇認知症サポート医養成研修
- ◇ものわすれ外来事業
- ◇その他(地域包括ケア会議など)

若年性認知症施策の強化

- ◇若年性認知症介護家族交流会 若年性認知症の人を介護している家族間の 交流会を充実する。
- ◇若年性認知症研修
- ◇若年性認知症支援のハンドブックの活用

《目標》 住み慣れた地域で安心 して生活できる社会

住み慣れた地域での生活継続の支援

- ◇徘徊高齢者等位置探索システムサービス
- ◇徘徊高齢者等 SOS ネットワークシステム
- ◇認知症サポーターメールの配信
- ◇徘徊高齢者一時保護事業
- ◇その他 (サービス付高齢者向け住宅など)

地域での日常生活・家族の支援の強化

◇認知症介護家族交流会

認知症の人を介護している家族間の交流会を充実する。

- ◇家族介護者のささえあい相談会
- ◇認知症コールセンター
- ◇高齢者見守りサポーター派遣事業
- ◇認知症地域支援事業

(※認知症地域支援推進員の配置)

認知症への正しい理解と啓発の推進

- ◇認知症サポーターキャラバン事業
- ◇認知症啓発促進事業 (街頭啓発活動、啓発パンフレット作成など)

権利擁護・虐待防止

- ◇高齢者虐待防止事業
- ◇成年後見制度利用支援事業
- ◇地域福祉権利擁護事業
- ◇市民後見人による成年後見

地域での生活を支える医療・介護サービスの構築

- ◇ (再掲) 認知症疾患医療センター運営事業
- ◇(再掲)ものわすれ外来事業
- ◇本人の状態に合わせた介護保険サービスの整備 認知症対応型通所介護 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護

医療・介護サービスを担う人材の育成

◇認知症介護研修事業

(介護実践者研修、リーダー研修、指導者研修、管理者研修など)

- ◇認知症地域医療支援事業
 - ・(再掲)かかりつけ医認知症対応能力向上研修
- ・(再掲) 認知症サポート医養成研修
- ◇高齢者虐待対応職員レベルアップ事業

「認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)」

(平成25年度から29年度までの計画)平成24年9月厚生労働省公表

1 標準的な認知症ケアパスの作成・普及

○「認知症ケアパス」(状態に応じた適切なサービス提供の流れ)の作成・普及

2 早期診断・早期対応

- ○かかりつけ医認知症対応力向上研修の受講者数 (累計)
- ○認知症サポート医養成研修の受講者数 (累計)
- ○「認知症初期集中支援チーム」の設置
- ○早期診断等を担う医療期間の数
- ○地域包括支援センターにおける包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の一環と して多職種協働で実施される「地域ケア会議」の普及・定着

3 地域での生活を支える医療サービスの構築

- ○「認知症の薬物治療に関するガイドライン」の策定
- ○精神科病院に入院が必要な状態像の明確化
- ○「退院支援・地域連携クリティカルパス(退院に向けての診療計画)」の作成

4 地域での生活を支える介護サービスの構築

○認知症の人が可能な限り住み慣れた地域で生活を続けていくために、必要な介護サービスの整備を進める。

5 地域での日常生活・家族の支援の強化

- ○認知症地域支援推進員の人数
- ○認知症サポーターの人数(累計)
- ○市民後見人の育成・支援組織の体制を整備している市町村数
- ○認知症の人やその家族等に対する支援

6 若年性認知症施策の強化

- ○若年性認知症支援のハンドブックの作成
- ○若年性認知症の人の意見交換会開催などの事業実施都道府県数

7 医療・介護サービスを担う人材の育成

- ○「認知症ライフサポートモデル」(認知症ケアモデル)の策定
- ○認知症介護実践リーダー研修の受講者数 (累計)
- ○認知症介護指導者養成研修の受講者数(累計)
- ○一般病院勤務の医療従事者に対する認知症対応力向上研修の受講者数(累計)